

## Systematics of the clingfish subfamily Diademichthyinae (Gobiesocidae)

著者	藤原 恭司
ファイル(説明)	博士論文要約 博士論文要旨(English) 博士論文要旨(日本語) 最終試験結果の要旨 論文審査の要旨
学位授与番号	17701甲連研第1016号
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/00032010">http://hdl.handle.net/10232/00032010</a>

学位論文要旨	
氏名	藤原恭司
題目	ウバウオ科ハシナガウバウオ亜科魚類の分類学的研究 (Systematics of the clingfish subfamily Diademichthyinae (Gobiesocidae))
<p>インド・太平洋産ウバウオ科魚類の1亜科である Diademichthyinae Whitley, 1950 ハシナガウバウオ亜科(新称)を以下の5形質により新たに定義した:(1) 上顎歯は様々な形態だが, 常に先端がフック状に曲がる;(2) 眼前感覚孔が0または2個(通常2個);(3) 第1-3鰓弓にそれぞれ2組の鰓葉をそなえる(3 gills <i>sensu</i> Briggs);(4) 吸盤中央(吸盤が2つに分かれる場合は, 前方の吸盤の後部=disc region D <i>sensu</i> Hutchins)に平坦な吸盤突起をもたない;(5) 腰帯の後端と下後鎖骨前縁間が複雑に接続する. ハシナガウバウオ亜科の分類学的研究によって, 3新属と10新種を含む14属29種を本亜科に認めた.</p> <p><i>Lepadichthys</i> Waite, 1904 ミサキウバウオ属は, いくつかの種が本属の定義に一致せず, 分類学的問題を抱えていた. また, 近年のウバウオ科における包括的な分子系統学的研究からも本属が多系統群であることが明らかとなっていた. 本研究によるミサキウバウオ属の骨学的特徴も含む詳細な形態観察によって, 本属は“真の”ミサキウバウオ属を含む5属に分類する必要があることが明らかになった. 単系統である各属は頭部感覚孔の開孔パターン, 口部の特徴, 前上顎骨と下顎歯の形態, 吸盤の大きさ, 尾部骨格, および色彩パターンによって互いに識別される. 5属の内, 3属はそれぞれ新属 <i>Flabellicauda</i> アカスジウバウオ属(新称), <i>Pseudolepadichthys</i> ミナミウバウオ属(新称), および <i>Rhinorhynchichthys</i> タスジウミシダウバウオ属(新称)として記載された. 矮小種である <i>Lepadichthys minor</i> Briggs, 1955 アマツミウバウオは, 本研究で再定義した <i>Lepadicyathus</i> Prokofiev, 2005 アマツミウバウオ属(新称)に帰属が変更され, <i>Lepadicyathus mendeleevi</i> Prokofiev, 2005 の古参異名であることが明らかになった. これらの分類学的整理によって, 真のミサキウバウオ属には以下の9名義種が含まれ, 6種が有効であることが明らかになった [<i>L. coccinotaenia</i>, <i>L. ctenion</i> (新参異名:<i>L. bilineatus</i>), <i>L. conwayi</i>, <i>L. erythraeus</i>, <i>L. frenatus</i>, および <i>L. misakius</i> ミサキウバウオ(新参異名:<i>L. sandaracatus</i>・<i>L. springeri</i>)].</p> <p><i>Unguitrema nigrum</i> Fricke, 2014 (単形属 <i>Unguitrema</i> のタイプ種), <i>Discotrema monogrammum</i>, および <i>Discotrema zonatum</i> Craig &amp; Randall, 2008 の調査によって, この3種は同種であることが明らかになり, <i>D. monogrammum</i> をその他2種の古参異名と見なした. その結果, 分類学的知見が乏しかった <i>Unguitrema</i> Fricke, 2014 は <i>Discotrema</i> Briggs, 1976 に含められた. その他3つの単形属も同様の整理がなされ, <i>Liobranchia</i> Briggs, 1955 は <i>Aspasmodes</i> Smith, 1957 と <i>Pheraliodichthys</i> Shiogaki &amp; Dotsu, 1983 メシマウバウオ属の古参異名であると見なされた. 加えて, <i>Aspasmodes</i> と <i>Pheraliodichthys</i> のタイプ種である <i>Aspasmodes briggsi</i> Smith, 1957 と <i>Pheraliodichthys meshimaensis</i> Shiogaki &amp; Dotsu, 1983 も <i>Liobranchia stria</i> と同種であることが明らかになり, <i>Liobranchia</i> は <i>L. stria</i> の1種のみで構成される単形属であることが明らかになった. したがって従来, <i>Pheraliodichthys</i> と <i>P. meshimaensis</i> に適用されていたメシマウバウオ属とメシマウバウオは, それぞれ <i>Liobranchia</i> と <i>L. stria</i> に適用される.</p> <p>ハシナガウバウオ亜科各属・種の識別的特徴, 記載, 異名関係, 分布域, 生態学的特徴, 調査標本のリスト(これまで出版済みのものはその引用), および検索表を示した. また, 本亜科の識別形質と吸盤を用いた吸着生態について考察を行った.</p>	